

## 令和 5 年度高等教育段階の教育費負担軽減新制度認定要件に係る

### 学校自己評価委員会及び学校関係者評価委員会の設置について

#### <設置目的>

平成 20 年度に学校教育法施行規則が改正となり、専門学校による学校自己評価の実施が義務化され現在本校でも学校自己評価を実施しております。

今回の新制度導入に伴い、認定校の必須要件に学校関係者評価を実施、公表が義務付けられております。その為、学校評価委員会を設置し学校自己評価をもとに学校関係者評価を実施することを目的とします。

#### <委員会構成>

##### ●学校自己評価委員会

- ・委員 理事長・校長 理事 理事長室室長 副校長 教頭 1 名 事務長
- ・役割 自己評価項目の検討、現状・課題の把握と改善策の検討・実施、報告書の作成と公表方法の検討他

##### ●学校関係者評価委員会

- ・外部委員 2 名(自動車業界関係者他)
- ・役割 学校自己評価の結果についての審議と今後の学校運営に対する意見等を具申、報告書の作成と公表方法の検討他

##### ●両委員会事務局 事務室

#### <今年度評価対象期間>

令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

#### <実施方法・公表方法>

学校関係者評価に実施にあたっては、学校関係者評価委員会の皆様に学校自己評価委員会で検討された学校自己評価の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見をいただき報告書としてまとめていきます。ご意見等は今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育水準の向上に努めることとし、ホームページに掲載、公表します。

学校法人 角川学園 専門学校花壇自動車大学校

令和5年度学校関係者評価委員会のご案内

- 日時／令和6年3月25日(月) 13時～14時
- 場所／専門学校 花壇自動車大学校 2階会議室  
仙台市青葉区花壇 8-1
- 出席者／
  - <学校関係者評価委員>
    - ・株式会社カダン 花壇自動車学校  
校長 小野寺 賢一
    - ・有限会社イースタンユニオン  
代表取締役 牛崎 照男
  - <学校事務局>
    - ・学校法人角川学園 専門学校 花壇自動車大学校  
理事長・校長 角川 重博
    - ・学校法人角川学園 専門学校 花壇自動車大学校  
理事 鮫名 満
    - ・専門学校 花壇自動車大学校  
理事長室室長 幸田 和明
    - ・専門学校 花壇自動車大学校  
事務長 阿部 博
- 次第／
  - 1 開会
  - 2 委員紹介
  - 3 自己評価の結果について説明
  - 4 自己評価の結果について審議
  - 5 閉会

## 令和5年度の学校自己評価に対する学校関係者評価報告書

■日時／令和6年3月25日(月) 13時～14時

■場所／専門学校 花壇自動車大学校 2階会議室  
仙台市青葉区花壇 8-1

■出席者／

<学校関係者評価委員>

- ・株式会社カダン 花壇自動車学校  
校長 小野寺 賢一
- ・有限会社イースタンユニオン  
代表取締役 牛崎 照男

<学校事務局>

- ・学校法人角川学園 専門学校 花壇自動車大学校  
理事長・校長 角川 重博
- ・学校法人角川学園 専門学校 花壇自動車大学校  
理事 鮫名 満
- ・専門学校 花壇自動車大学校  
理事長室室長 幸田 和明
- ・専門学校 花壇自動車大学校  
事務長 阿部 博

■次第／

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 自己評価の結果について説明
- 4 自己評価の結果について審議
- 5 閉会

<審議内容と委員からのご意見>

1 教育理念・目標

理念、目標等については明確に示されており、職員にも周知されている。  
これを実践させる為には職員教育の更なる強化と、授業内容にも組み入れ生徒、  
保護者にも理解してもらおう努力を継続していただきたい。

2 学校運営

組織体制が整備され運営上の問題点は見られないが、今後更に組織内外におけるガバナンス機能の強化とコミュニケーションを密にして、より効率性と公益性を考慮した運営に努めていただきたい。

### 3 教育活動

教育目標、教育課程編成、成績基準、サポートシステム等も明確であり問題点はないが、指導に当たる職員の意識を高めスキルアップ、キャリアアップに努めていただきたい。

### 4 学習成果

学習内容は専門知識を深める事も必要であるが、企業等が求めている人間力を身に付けられるよう教育内容を充実強化し、創意工夫して欲しい。

### 5 学生支援

各種支援制度について生徒、保護者が理解して有効に活用できるよう周知徹底を図っていただきたい。また、企業の要望等も取り入れ、支援体制を充実させていただきたい。

### 6 教育環境

教育環境整備は良好と認められるが、大きく変化していく社会のニーズに応えられる設備投資や人材育成を更に推進していただきたい。

### 7 学生の受け入れ募集

適正年齢人口の減少等は今後も継続することが予想されることからより複眼的な募集や留学生の受け入れ等学校の特徴を生かし、学生確保対策を推進していただきたい。

### 8 財務

財政収支はしっかりしており、今後は職員全体にも運営コストを認識させ財務意識を浸透させる等、健全な運営に努めていただきたい。

### 9 法令等の遵守

基本となる法規を含め、ハラスメント対策、関連する法令等の研鑽に努めコンプライアンスの徹底を図り教育機関としての使命を果たしていただきたい。

### 10 社会貢献・地域貢献

あらゆる機会を生かした社会貢献や地域に即した清掃活動等が実施され良好であるが、地域コミュニティとの意見交換会等更なる活動の幅を広げていただきたい。

### 11 国際交流

社会全体のグローバル化に的確に対応出来る様、職員意識の向上を図る努力をしていただきたい。また、留学生も数多く在籍することから、これらの特徴を生かした交流を広げていただきたい。

### 12 その他

学校、行政、地域等との定期的な意見交換会等の実施など公益性にも配慮した学校運営に努めていただきたい。

以上